

山田 大五朗さん 「自転車の完全循環利用型社会の実現」

【元プロマウンテンバイクライダーの起業家】

読者の皆さまはマウンテンバイクライダーという職業をご存じでしょうか。今回取材した山田大五朗さんは、国際自転車競技連合主催 UCI マウンテンバイクワールドカップで3年連続日本代表になった、元プロマウンテンバイクライダーの起業家です。マウンテンバイクライダーの仕事はレースがメインですが、自転車の普及活動や子供たちへの自転車スクールも行っています。



バイクコース

(以下、敬称略)

Q1 プロマウンテンバイクライダーのご経験で何を得ましたか？

山田 海外に行く機会が多く、主にヨーロッパ、自転車文化が根付いた世界を見ることができました。特に影響を受けたのがフランスで、自転車をスポーツとして楽しむことが生活に密着しています。

【引退後、起業への道のり】

約10年前プロ活動を引退するとき、フランスのような自転車文化を日本に根付かせたいという思いが強かったとおっしゃる山田さん。引退後、台湾に本社がある自転車の企画製造ベンチャーに声をかけられて、メディアの記事を執筆、プロダクトの企画や製造など多方面に活躍されていましたが、入社半年で急に日本法人を閉めることになったそうです。結果として、ご自身が日本法人を運営することになり、労働基準監督署や弁護士の対応、会社の売却を行うことに。この時の人脈が生きていて、後のBike is Life 立上げで大きく助けてもらったメンバーでもあるそうです。

Q2 平成30年に会社設立されたとき、株式会社 Bike is Life という会社名に込めた思いはどのようなものでしたか？

山田 私が決めたのではなく、当社の株主でもあり、設立時役員でもある株式会社リ・パブリック共同代表の田村さんから、『山田さんなので、Bike is life. でいいんじゃない、見たまんまで』と命名頂きました。このままだと文章なので、life のLを大文字にして、会社名らしく修正しました。

【自転車の廃棄問題】

山田さんが今回の起業で取り組むのは自転車の廃棄問題。フランス留学の後、福岡市天神で監視員のアルバイトをやった経験があって、自転車が使い捨てのようになぼろになっているのを見て衝撃を受けたと語る山田さん。放置されて撤去された自転車はオークションに掛けられて、買い手が無ければ廃棄される。ママチャリは新車でも8千円くらいで購入できた時代、一方自転車屋さんはメンテナンスで利益を得るため、タイヤ前後交換で1万円掛かり、それならメンテナンスせずに買うという悪循環、このままでは自転車の価値がヨーロッパに近づくことはない、この現状を変える方法はないかと模索したそうです。

Q3 循環型サービスの提供について、事業を構想した経緯を教えてください。

山田 「もともとBike is Lifeの事業計画の柱にと検討しましたが、計算すると、当時のスキルでは事業化は難しく、そのほか手前の段階の『自転車を大事に乗ってもらうこと』を柱に据えました。その後、2年間の会社経営により、お客様とのつながりや、余裕と経験ができ、同時進行できるイメージが湧きました。新たに起業したBike Cycleは短期間では育てられないので、本業がちゃんとあって、初めて事業に取り組むことができました。」

【Bike Cycle の立ち上げ】

令和2年9月に個人事業で「Bike Cycle」を山田さんは立ち上げました。現在は溶接機を導入するなど準備中で、今後、中古自転車を買取り、使えるものはメンテナンスして販売、使えないものは捨てずに、何か新しいもの、例えば椅子、机、スツール、ラック等の家具に生まれ変わらせるなど、自転車を最後まで利用する事業です。山田さん曰く、自転車は良質な金属パイプの集合体、溶接を含む金属加工技術で新しいものを作り出すことができる、またスポークもリムも金属なので、曲げ加工してランプシェードにするなど、考案しているところだそうです。なお、起業支援金は金属加工用のTIG溶接機とプラズマ切断機の購入に充てられました。

Q4 Bike Cycleの事業を成功させるためのポイントは何ですか？

山田 ハードルが高いのですが『海外に出ること』です。この事業を海外に持っていきたい。リサイクルする国、使う国、作る国があっても良いし、自転車をしっかり使うというのが、ヨーロッパ以外でも普及すると良いと思う。所得の違いがあっても、中古や現地整備で価格は下がるし、現地での循環やリユースができれば、新たな産業ができる。今は世界で自転車を使い切るための第一歩です。

【取材の最後に】

Bike is Life の拠点である朝倉クラブハウスを、今後 Bike Cycle の拠点にしていこうと考えていると語る山田さん。一方で、1年後くらいにという思いで、福岡市内にも、福岡クラブハウスを構えようと検討されています。この時に朝倉を Bike Cycle の加工、展示、販売と情報発信、交流拠点に加え、週末のカフェやスクールも続けますので、お気軽に尋ねてみてください。



お勧めのサブスクリプションサービス

Q5 山田さんにとって、『自転車』とは何ですか？

山田 これはもう、人生です。そのままです。Bike is life. です。

(起業支援コーディネーター 篠田 昌人)



厨房で働く山田さん



朝倉クラブハウス店内

【Bike is life. 朝倉クラブハウス／Bike Cycle 工場】

住所 〒838-0811 福岡県朝倉郡筑前町弥永 510

HPアドレス <https://bikeis.life/>

カフェの営業時間 土日祝の9時から18時